

平成27年5月20日
創刊号
 茶屋町地区
 社会福祉協議会
 広報担当 佐川 慶三
 ☎428-2417

茶屋町地区社協だより

地区社協を設立

「できてよかった」と言われるように

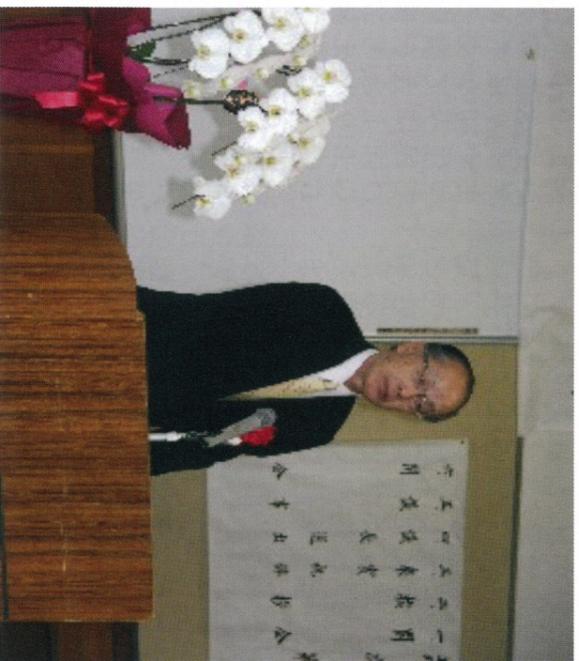
助け合い活動や交流活動を

4月19日、茶屋町公民館において、茶屋町地区社会福祉協議会の設立総会を行い、「地域福祉の推進を図ること」を目的に、活動を開始しました。

《ご来賓の方々》

倉敷市 副市長 三宅 英邦 様
 倉敷市社会福祉協議会 会長 虫明 正雄 様
 倉敷市立東陽中学校 校長 川上 忠良 様
 倉敷市立茶屋町小学校 校長 忠田 正 様
 倉敷市役所福祉支援課 課長主幹 宇野 宏造 様

設立総会には、茶屋町学区コミュニティ協議会のメンバーや支援団体の方々、約90人が出席しました。倉敷市副市長 三宅英邦様、倉敷市社会福祉協議会会長 虫明正雄様より、

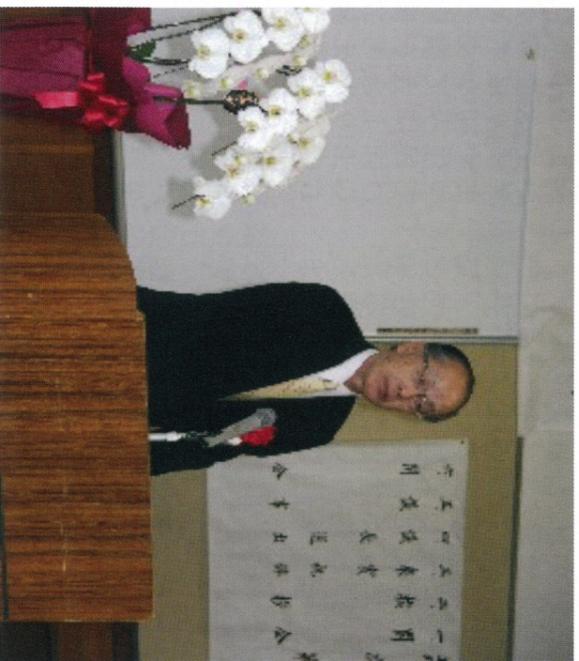


倉敷市副市長 三宅 英邦 様より「祝辞をいただきました」

「できてよかった」と言われるように助け合い活動や交流活動を

倉敷市 副市長 三宅 英邦 様
 倉敷市社会福祉協議会 会長 虫明 正雄 様
 倉敷市立東陽中学校 校長 川上 忠良 様
 倉敷市立茶屋町小学校 校長 忠田 正 様
 倉敷市役所福祉支援課 課長主幹 宇野 宏造 様

設立総会には、茶屋町学区コミュニティ協議会のメンバーや支援団体の方々、約90人が出席しました。倉敷市副市長 三宅英邦様、倉敷市社会福祉協議会会長 虫明正雄様より、



倉敷市副市長 三宅 英邦 様より「祝辞をいただきました」

茶屋町地区社会福祉協会の51番目の設立となります。私も役員となり、人口も急増しています。私も役員となり、人口も急増しています。私も役員となり、人口も急増しています。

地域住民のための活動を

「ご挨拶」会長 古原 重臣



地区の住民福祉のことで、ご協力をよろしくお進めいただきます。地区の住民福祉のことで、ご協力をよろしくお進めいただきます。地区の住民福祉のことで、ご協力をよろしくお進めいただきます。

設立の目的

茶屋町地区社会福祉協議会は、茶屋町小学校区を活動地域として、地区内の福祉問題を解決するために、様々な活動を展開することにより、地域福祉の推進を図ることを目的とする。

平成27年度 事業計画

- 年間事業
 - 小地域ケア会議「茶屋町ケア会議」○福祉教室の開催
 - あいさつ運動・児童生徒の登下校時の見守り
 - 「地域で子育て応援会議」への協力・応援等
 - 広報紙の発行 ○社協だより配布
 - 社協会員募集への協力
 - 歳末たすけあい運動への協力
 - 独居高齢世帯等の見守り・訪問活動
 - 災害時要援護者の把握・支援
- 2、メニュー事業
 - (1) 要支援者に対する見守り・支え合い活動(独居高齢者配食事業)
 - (2) 地域での防犯活動
 - (3) 福祉講演会
 - (4) 住民同士の交流活動
 - (5) 歳末たすけあい活動(家族でカラオケクリスマス)



平成27年度 役員名簿

顧問 佐藤 恭久
 会長 古原 重臣
 副会長 佐藤 秀樹
 理事 佐藤 允啓
 川端 宏輝
 和田 一夫
 栗坂 保子
 高浜 純子
 川上 志保
 栗坂 昌毅
 武田 妙子
 酒井 正二
 古原 鶴二
 斎藤 元晴
 岡 浩一
 会計 岡本 啓志
 監事 大塚 文字
 庶務 小池 道治
 役員 佐川 慶三
 和紀 敏夫
 味壱 萩原
 佐川 慶三

微力ではありますが、全力で頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

倉敷市社会福祉協議会会長 虫明 正雄様よりご祝辞をいただきまして、紙面の都合で、抜粋し掲載させていただきます。

祝 辞

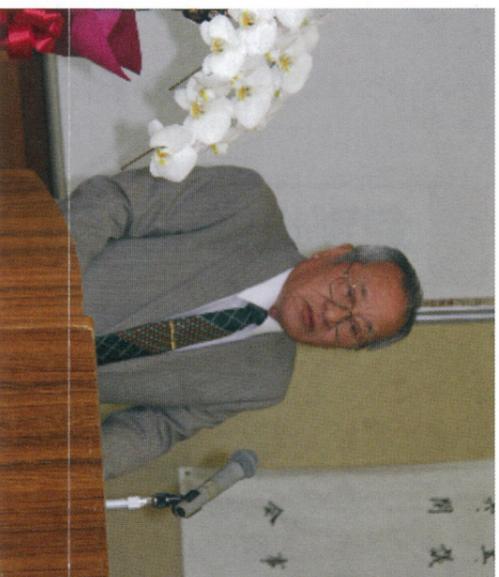
本日ここに、茶屋町地区社会福祉協議会の設立総会が開催されるに当たり、一言でお祝いを申し上げます。本日の記念すべき日を迎えるまで、7年間をわたり、繰り返し熱のこもった意見を交わし、地区社会福祉協議会に協力を続けてまいりました。最後になりましたが、本日ご列席の皆様のご健勝と茶屋町の中で、当茶屋町地区におきましても、高齢者や子育てなどの様々な課題を目的に、茶屋町地区から、茶屋町地区福祉サービスを必要とする高齢者の福祉問題として捉えるようになり、住民意識の次第に変化してまいりました。また、天城・茶屋町高齢者支援センターの設置について度々要望がありました。中々、地域住民が、地域において支援の必要な人たちの暮らしの問題など、いち早く発見できる仕組みをつくり、そして

「挨拶をされる 虫明 正雄 会長



近年、急激な少子高齢化の進展や人口減少社会が到来してまいり、そのうえ核家族化が進み、以前の支援助をさせていたような家庭の機能が弱まっております。また、住民同士の「助け合い」や「つながり」といった社会的なつながり、心して暮らせる地域づくりが、本日ご列席の皆様のご健勝と茶屋町地区社会福祉協議会におきましても、高齢者や子育てなどの様々な課題を目的に、茶屋町地区から、茶屋町地区福祉サービスを必要とする高齢者の福祉問題として捉えるようになり、住民意識の次第に変化してまいりました。また、天城・茶屋町高齢者支援センターの設置について度々要望がありました。中々、地域住民が、地域において支援の必要な人たちの暮らしの問題など、いち早く発見できる仕組みをつくり、そして

茶屋町地区社会福祉協議会設立の経緯報告
茶屋町学区コミュニティ協議会 会長 佐藤 恭久
茶屋町学区コミュニティ協議会 委員長 佐藤 恭久



佐藤 恭久 委員長

自らできる活動を組織的に展開することが必要であると考える「小地域ケア会議」が必要であると考える茶屋町学区コミュニティ協議会では、平成25年11月「茶屋町地区社会福祉協議会」設立に向けて、協議を行うことを決めました。同年12月に第1回目の設立準備委員会

ボランティアとして、共に活動してくれる有志の方を募集しています

高齢福祉部会では、小地域ケア会議を2カ月に1回(奇数月の第2火曜 午後7時)、会場は茶屋町公民館) 開催し、主に高齢者の課題を検討していききます。特に、医療・介護・福祉の専門的な知識や経験をお持ちの方で、ボランティアとして、地域の人々の健やかで安全な暮らしにご尽力いただける方を広く求めています。の佐川 (☎428・2417) までご連絡ください。

開催し、以来、協議を重ねてきましたが、途中年度替りなどで委員の交代もあり、難しい局面もありました。倉敷市社会福祉協議会職員の方々のご指導、また準備委員会の委員皆様のご協力により、なんとか今日の日を迎えることができました。今、私たちのまわりでは、「子育ての意識しておくことは、相談に乗ってもらえる場がない」「最近、ひとり暮らしや閉じが出来る場をつくる。こもり気味なお年寄りが増えた」「空き家がが増えて、地域の防犯が心配だ」「災

講演要旨

今、私たちのまわりでは、「子育ての意識しておくことは、相談に乗ってもらえる場がない」「最近、ひとり暮らしや閉じが出来る場をつくる。こもり気味なお年寄りが増えた」「空き家がが増えて、地域の防犯が心配だ」「災

このままでは、市役所へお願いに行けば、ただけるような、よ

「① 出会う」とは、ふれあいウォークや学区運動会のように、地区社協ができて、あり

演題「地区社協の役割と活動について」

講師 倉敷市社会福祉協議会 地域福祉課 課長 秋田 展生様



「① 出会う」とは、ふれあいウォークや学区運動会のように、地区社協ができて、ありがたかった」と言われることです。そのために、みんなので汗を流し、労を惜しまず話し合い、イベントを企画し、実行していくことです。茶屋町の人々に、「いろいろしてくれて、ありがとう。でも、私にもなにかできることはない？」と言ってもらえる茶屋町にしませんか。そのために、一緒に苦勞しませんか。